

上
海
方
向
の
貨
物
接
収
の
通
帳

大
松
映
流
製
菓

CST
26

0266

目次

第一 點收統制官設置ニ至ル迄、経路概要

第二 軍需品分散状況ト点收作業、段階

(一) 各倉庫、分散状況

(二) 点收作業、段階

(三) 移動点收

(四) 海陸及他機関点收

(五) 軍政部海軍産点收

第三 各部队点收完了状況ト新加点收作業協力要領

第四 各軍需品点收、概要ト價格概算

第五 綜合所見

(終)

海

軍

(大東納)

0267

上海方面軍需品採(支)收経過報告

上海方面日本海軍支收統制官

大松澤一文字

第一点收統制官設置に至る迄の経過概要

終戦以来艦隊司令部指揮下各部は終戦後未だ接收ニ対応する準備を進め、アリシカ九月

中旬中國側接收委員來港スルニ及ビ上海方面根據地隊司令部終戦處理指揮官トナリ

我々海軍航空部隊ハ中國空軍ニ陸隊方面ハ(但軍需品ハ中國海軍)中國陸軍

ニ海上艦艇及陸上各廠ハ中國海軍ニ接收ヲ委スルニ定メタリ、中國海軍

接收委員長ハ吳振南少將ニシテ各廠ノ接收及海軍肉俵倉庫ノ封印作業ニ

約一ヶ月ヲ要セリ

此等ノ封印作業既ニ完了スルヤ各倉庫ニ格納セル軍需品ノ接收實施スルニナリ

(註) 此点收上ハ軍需品ヲ詳細ニ點檢接收スルノ意)

此レニ右方面ニ於テハ我々施設及倉庫物質ハ中國海軍ノ豫想以上ニ

司量三上ノ名ヲ以テ之カ業務ニ日本側ノ協力ヲホシシ事全艦指揮監督
及連絡ノ爲日本側海軍占收統制官設置セリ十月十日第一海軍経理部長
兼第一海軍軍需部長之カ業務ヲ担當ヲ命セリ南今ノ指揮下ニ
駐收業務ヲ純行セリ

海軍

0269

第二軍需品分散状況及重点收作業段階

上海方面我が海軍軍需品物資の空襲被害極限並に敵上陸作
戦に備へた高度分散格納態勢を整へたりしを為此等格納所
在及数量確認に相違困難を伴ふ

上海各廳ノ軍需品ノ所在地ノ概要次ノ通り

(1) 艦隊司令部 三ヶ所

旧招萬局中樓(兵器祿服) 第一軍需所(兵器類)

(2) 上根司令部 四ヶ所

南門倉庫(兵器) 八州碼頭(兵器) 粵東坊倉庫(兵器)

大使館倉庫(需品)

(3) 第一海軍軍需部(上海衣糧廠 第二海軍經理部ヲ含ム)

七〇ヶ所(一六六倉庫)

海軍

(1) 旧軍需部構内

振替馬頭 倉庫群 公私振替馬頭倉庫群 三ノ馬頭倉庫群

(名種軍需品)

(10) 上海倉庫信託團保倉庫

上海倉庫信託社(糧食) 上海倉庫信託團倉庫(糧食、被服、燃料、用品、兵器) 北豊

隆倉庫(運通) 元亨隆倉庫(主需) 東倉庫(燃料) 南隆馬頭倉庫(糧食)

亞興倉庫(主需通物) 南東亞興倉庫(糧食) 南東永興倉庫(糧食)

(11) 三菱倉庫信託團保倉庫

三菱江西倉庫(糧食) 三菱楊樹浦倉庫(兵器需品) 三菱廣東路倉庫

(被服)

(12) 陸隊駐屯地三條約セリテ

旧交通銀行支那支店(兵器) 大陸銀行(主需) 四行倉庫(糧食) 中國通商會(兵器及需品通物) 新兵倉庫(兵器) 振替馬頭、糧食被服、陸隊駐屯地、モノト區別スルテ圖示スルヲ以テ陸隊駐屯地ニ係リ、モノト區別スルテ圖示スルヲ

(内) 在外名所之分散(凡元)

(1) 燃料関係

三井第一棧橋 三井才棧橋(並石炭油車側) 北學棧橋(石炭南市)

揚子浦亞細亞石油會社 甲信十學校 丸善五防(西体育會場)

廣東公園倉庫 新射的倉庫 旧射的倉庫 軍火訓練所

(四所公所樓) 丸善宿舍 丸善倉庫(北野寺) 三興麵粉廠 莫米トラス

日華紡績會社(浦東) 大和碼頭(浦東公私輝碼頭) 浦東亞細亞石油株式會社

八州碼頭 丸善石油株式會社(古橋鎮) 國際運輸倉庫

(2) 兵器関係

農務倉庫 上海監獄 大阪南船倉庫(才三倉庫) 商印路倉庫

(大阪南船倉庫) 宇野(宇野) 日射場倉庫 伊人農園(融剛倉庫)

(3) 糧食関係

華友麵粉廠 國際產業株式會社(新米所) 上海倉庫信託冷庫廠

洋 目

華中水産第三工場 桂林冷蔵庫 大中華麵粉廠
 中国銀行倉庫 阜豐麵粉廠 三興麵粉廠 (味曾三標) 不外原料
 支給工場と直接收受カセルモノ、上海理化工業業 京日味噌工場 (但し純水
 部ニ移管セル) 華順碼頭倉庫 淮山碼頭倉庫 (通過部隊)
 水軍需部関係雑品倉庫
 華通碼頭倉庫 (京漢工業) 岳州紙倉庫 國際運輸倉庫
 大和碼頭倉庫 (浦東公私輝碼頭) ケウラ下書店 古産産業
 倉庫
 經理部関係雑品倉庫
 中央勸業公司 愛農倉庫 申報館倉庫 新聞報倉庫
 日月倉庫
 衣糧廠関係倉庫
 B.B. 倉庫

(8) 自動車修理班関係

臨潼路工場

(4) 第一海軍施設部

二四ヶ所(二四倉庫)

(1) 倉庫関係

施設部本部 四号倉庫 七連碼頭倉庫 中野聯倉庫

中華製糖廠 壽公司 三号倉庫 十号倉庫 昆明路倉庫

庫倫路倉庫 瑞豐倉庫 滄江大寺倉庫 寿根路倉庫

何家湾置場 龍華置場 第二部隊倉庫 昇隆倉庫

大ニ木廠 補給倉庫

(4) 置場関係

五号置場 六号置場 七号置場 八号置場

0275

(5) 第一海軍本部 五ヶ所(三大倉庫)

江南才一海軍本部本部、楊樹浦本部本部

舊園洋行(常品) 柳木倉庫(燃料) 三菱D。倉庫

(6) 上海海軍運輸部 一ヶ所(二倉庫)

公私神(碼頭) 二ヶ所倉庫 三ヶ所倉庫

(7) 上海海軍特別陸戰隊 一五ヶ所(才三二倉庫)

陸戰隊本部及附屬倉庫(各科軍需品) 滬北兵舎(各科軍

需品) 海軍送使所 新式艦隊管理(需品) 第三海軍隊

(糧食) (各科軍需品)

第二下七有兵集會所(糧食) 中央海軍學校(燃料) 山陰院

練兵場(木炭) 葛城院自動車置場 取手院自動車置場

商船院倉庫(兵需) 高武院倉庫(兵需) 陸軍兵舎(兵需)

パブリック公園(兵需) 黃浦院倉庫(各科軍需品)

(8) 支那方面艦隊軍法會議

一ヶ所

廳全由(兵務部為親)

(9) 上海港警部

二ヶ所(七ヶ倉庫)

庁全内 吳淞見張所

(10) 第二氣象隊

一ヶ所

廳全内

(11) 上海海軍航路部

一ヶ所(三千六室)

廳全内

(12) 第一海軍病院

五ヶ所(九ヶ倉庫)

病院内 1ヶ所 海軍倉庫 水主和事館 天流路島重地

公司 利發倉庫

計五ヶ所 一三〇箇所(二三〇倉庫)

二三ヶ所 此等倉庫別檢納品目別冊軍需品目錄記載通り

0277

又外中支空軍航空廠各工廠の中國空軍の各艦艇の軍需品採集、
儘夫の中國海軍上採收せしむる

又是收作業實施要領の中國側事情より要、変更せし作業終了迄
二迄、三段階ヲ經過せり

(一) 移勤整收(十月中旬-十一月中旬)

中國海軍の於て我が海軍物資採印作業終り中各方面に分散せん

軍需品は江南工廠、蘭路碼頭及楊樹浦公大の廠倉庫ニ集

中ノ運搬ニ際シ物資ヲ整收ス

右要領ニ依リ整收箇所ハ農場倉庫、タリ、ト若クハ丸善宿舎

丸善宿舎、瀨山倉庫、射場場、奉順碼頭、旧艦隊司令部及

煤彈庫の一部ナリ

移勤整收ニヨリ我が海軍物資の相方ノ量ニトテ以テ表對照ヲ要スル

見込ナリトシテ日本海軍トシテモ當時未だ帰還ノ目途ナク且中國側

一
二

0278

二協力は、今後、交渉ニモ資質ニシテ、
高ク、時代ニハ、日米間、自治用、物貨、
多使用申請、承認、比較、的、容易、ナル、便、
ニ、ア、リ、タ、リ

洋 貨

0279

(一) 海園及他機關點收(十月中旬—一月中旬)

前記點收方法ニヨリ点收實施中、處十月敵偽產業處理局設置
セラレ上海地区ノ接收及處理ノ全般統制ニ事リ上海方面ノ接收物
資ハ左ノ十四機關カ處理局代表ニ接收保管運用ヲ許ル事ニ
決定セラレタリ

(a) 軍用品……軍政部

(b) 軍艦……海軍總司令部

(c) 陸上運輸工具……陸上運輸管理局

(d) 水と運輸工具……拓内局

(e) 空中運輸工具……航空委員會

(f) 碼頭倉庫及易破物品……江海園

(g) 工廠設備及五料成品……經濟部

(h) 園作及池作燃料……上海地区燃料委員會

0280

(1) 地產房屋傢具……中央信託局

(2) 糧食……糧食部

(3) 農場……農林部

(4) 大專及文化機關之設備……文部省

(5) 鑄幣法及珍寶首飾……中央銀行

(6) 其他……上海市政府

此等整理より従来の中国海軍に接收を續けしより、内各碼頭倉庫中物資ハ
 全部中国江海關に移交せし中国海軍が従来の移動倉庫ヲ占むる作業
 進捗セズ、莫收未済ノ倉庫多數ハ全部中国海關に暫時保管中
 倉庫事務移動並に倉庫ヲ占收シテ、ナレリ中国江海關ハ約三〇〇人
 近々、人員ヲ派遣シ從來ノ移動倉庫ヲ改メテ不動倉庫ノ方法ヲ採リ
 倉庫作業ハ急激ニ進展セリ、而シテ軍需部經理部亦糧食廠施
 設部等、物資ハ概テ碼頭又ハ倉庫にマリ、以テ江海關ハ

先づ此等と定收ニ屬子セリ 及之工部及陸海軍省院等、物資ハ
碼頭倉庫保管物資ト云ヒ難ク、之ハ決定ニテ中國江海兩岸中國海軍兩
者ノ折衝中、治、租階ニ入レリ

(因ニ日本海軍保存ノ物資ハ相方外國權益、碼頭倉庫等ニ格納セシ
中國海軍ハ封印、儘放置セルヲ以テ經濟復興阻害スト見ラレ、又該保存物
質ノ多量ニテ、適、中國海軍需要ヲ超過スルヲ以テ之ヲ他ノ行政各
部ニ分派スルヲ可トスルノ及ビ該物資中ニ日本海軍ノ發射中、莫末
ノ商社アリ、微察セルモノアリ、之ハ返還整理促進、利便等ノ見地アリ
江海兩、進出ヲ見エヌト思ハル)

海軍省製衣糧廠關係ノ物資ニ就テモ市内工場等ニ保管セルモノハ左
記ノ如ク、他、糧食部ニ委託ヲ移交セラレタリ

國際倉庫(製米所)……糧食部

大中華製粉廠……經濟部

0282

海軍

上海理化學工業株式會社... 經濟部

予の味方... 軍政部採購委員會

又此時期向中國海軍自衛隊發行... 燃料... 海軍... 油... 旅... 物資...

三 軍政部海軍處... (11月中旬) - (11月下旬)

一 11月4日中國海軍總司令... 魏朝民...

0283

ニテ

14

前記ノ通中國海軍及江海關ノ主收行ハソノ向上海方面ノ
 日僑徒手官兵ノ内地運送其ノ緒ヲ年比較的早則ニ海軍
 側ノ引揚ヲ完了シ得ル目安トナリテ以テ至急整收ヲ完了スル
 ノ必要ニ迫ラレタリ

尙書時ノ江海關ノ整收ハ上海方面ノ物價騰貴抑制手段ニ
 對シテ利用スル爲メ經濟的價値大ナル燃料船舶糧食等ノ
 整收ニ力ヲ注キ兵若彈藥類ハ同知サレ居ラレタリ之ノ促進
 方ヲ中國海軍ニ申入レ先處 我ノ方ノ希望ヲ諒トシ中國
 中國海軍自體ニテ之ノ促進ニ努メ確進的進捗ヲ示スニ至レリ

思フニ中國海軍總司令部時代ニ行政部院令ニ依リ海軍總司令
 部ノ接收シ得ルモノハ軍艦トノミアリシ處此等院令ニ依リ見軍需品
 ノ接收ニハ消極的ニシテ江海關ヨリ其ノ移交ノ交渉アル場合
 也ナルモノナルニ模倣ナリシカ軍政部海軍處ニ改編後ハ軍政部

0284

ノ接收品目中之ハ軍用品トアリシカモ其ノ領ノ權拒否トナリ、車輛ノ
ノ他ノ接收品目中之ハ軍用品トアリシカモ其ノ領ノ權拒否トナリ、車輛ノ
至レリ

0285

第三

第一、各應、是收完了狀況上或の是收以業協力要領

(1) 各部、是收完了期日通

所轄名	期日	接收機関	記
方面軍司令部	三十一日	中國海軍	
上根司令部	三十一日	中國海軍	
第一海軍	三十一日	中國海軍	
第一海軍	三十一日	中國海軍	
經理部	三十一日	糧食部	
上海衣糧廠	三十一日	糧食部	
上海運輸部	三十一日	中國海軍	
上海港務隊	三十一日	中國海軍	
上海航路部	三十一日	中國海軍	
第三氣隊	三十一日	中國海軍	
軍司令部	三十一日	中國海軍	
司令部	三十一日	中國海軍	

0288

然、此等各廳別に収物件ハ別冊に収完了報告ノ通ナリ

(2) 収物件業協力要領

中國海軍カ、各倉庫ノ封印終了后、正収物件業完了スル迄ハ、我カ海軍ニ於テ責任ヲ以テ保管スル如ク申入アリタルヲ以テ各部(隊)ニ於テハ、是レ良ナル管理者、注意ヲ以テ事務ヲ行ス限リ之カ保管ニ任セリ。且、是レ収物件業ニ對シテハ、補給部内ニ是レ収物件ノ科ヲ設ケ、中國海軍總司令部ニ連繫員ヲ派遣シ、且、作業實施ノ場合ハ、我カ方ヨリ作業スル

病院	第一海軍	第一海軍	第一海軍	第一海軍	C.S. 事務所
三〇一三三〇	二〇一三三三二	三二一三三〇	二一〇一三六	三二一〇一七	三二一〇一四
中國海軍	中國海軍	中國海軍	江海團	中國海軍	中國海軍
				軍需部經理部一部トシテ接收	

派出之ヲ援助セリ

之カ點收作業トシテ從事人等ハ約一萬名(各地方留用人員
ハ除ク)ニ及ベリ

海
軍

0288

第四各軍司令部定取ノ概要ト細括概要

以上ハ主トシテ各ノ應定取ノ概要ヲ述ベタルモ以下軍司令部

別ニ詳細ヲ述ベシトス

(一) 兵器定取ノ概要

軍部連

目録

0289

終點ト共ニ兵器類ハ出納ノ必要ナキヲ以テ各倉庫ニ集中シ之カ保管
ニ特ニ意ヲ用ヒ各隊各々貯蓄或兵ヲ派遣シ其ノ保管ニ任シタリ

兵器ノ保管應ノ主ナルモノハ軍需部(主トシテ火工兵器類)陸隊

(陸上兵器)上根司令部(海上防衛兵器)工部(現地火工兵器)

等ニテ主トシテ融團倉庫旧射場倉庫農協倉庫商郵路

倉庫O、D、K、倉庫等ヲ主トシソ他ハ各隊各應ニ夫々自

應用兵器ヲ格約シ置ケリ

而シテ兵器ニ就イテハ我が方トシテハ速カニ主收貯アリ希望セシモ中國

海軍側ニ於テハ我が海軍備力ニ依ルヲ有利トスルト急經濟的價値ヲ求

衣糧品及雜品類ノ主收貯ニ感シ居リタル爲カ兎角内却ノ

狀況ニ依リテ其ノ内地ニ於ケン火藥類ノ爆發事件アリタル爲極力

之カ危険ヲ除去スル爲不良爆藥類處理方策ヲ策シ中國海軍

ニ進言セシモ總務課長ノ承認スル處トナラズソノ儘経過セリ

増

0290

然ル程ニ十月末ニ至リ、奥ノ邊ニ開城セシ。二月末迄ニ強ト上海ニ於
 ケル人多ク様々少數ナルカ、如キ司令部ノ豫想ナリシヲ以テ至急トシテ
 收込進ノ必要ヲ感シ、一月十二日之カ最後の會議ヲナシ、促進方ヲ中
 國側ニ接衝セシ。過ク、京滬地區正接收込委員トシテ魏副、民氏
 來滬シ、促進、姑息ナリシ手取ヲ一擲シ、軍政部海軍處ノ手ヲ
 以テ各倉庫ニ於テ不動占去收込ヲ行ヒ、二月十日迄ニシテ作業ヲ概
 成シ、二月下旬ニ海軍部兵隊ヲ撤去セシ。

0291

品名	野戰	高射砲	高角砲	迫撃砲	各種火砲	機銃	小銃	軍銃	戰車	裝甲車	換銃車
	内	内	内	内	内	挺	内	内	台	内	内
数量	四	三六	三七三	一三	一五三	四九四八	一六六五	三	一三	一六	
品名	砲彈	換銃彈	小銃彈	軍銃彈	各種彈	各種地雷	各種地雷	各種地雷	各種地雷	各種地雷	各種地雷
数量	五六〇〇〇	五〇四〇〇〇	一八六〇〇〇	三三〇〇〇	二九五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇

重収ヲ要スル数量ハ別紙統計表ニ示スルニテモソノ重ナルモノヲ精記スルハ

又外通債、航油、水費、由警部古書、モノ多クあり
 総額借債、莫二兆十億八千万元ニ至ラ

証
 置

尚兵部呈報上向題トナリ名滿然次ノ如シ
 軍需部彈藥類格納庫O.N.K.倉庫ハ九月十四日
 米極軍ノ進駐ト共ニ該所ニアリ居ル方ノ倉庫員
 ハ即付退去ヲ命セリ該所ニアリ居ル兵若ハ商郵路合
 庫ニ運搬セリタリ後之ハ調査ノ者中國海軍江海接收
 委員ト入内ヲホメシカト許可サレテ商郵路ニ運搬
 セリタルモノハ該所ニ於テトクモ收ヲ要セズ

洋 算

0293

(二) 燃料収収ノ概要

(1) 石炭

石炭保有量ノ重ナル七ノ八第一海軍軍需部及第一海軍総理部ニテ

ノ概数次ノ如シ

所在別	前終	一需別	計	記
三井第一橋		一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	本数字ハ總燃料貯蔵量ノ三ノ一ニシテ 軍需トテ取上ルル軍需部トシテハ 各社トシテ總貯蔵トシテ取上ルル不明ナル 八月三十一日現在品目録ハ計上 シテラス
三井第二橋		三三三,〇〇〇	一六六,一三三	
南市石炭		二四〇,〇〇〇	二四〇,〇〇〇	
置場		二四〇,〇〇〇	二四〇,〇〇〇	
計	三八〇,〇〇〇	三三三,〇〇〇	四〇〇,一三三	

石炭ハ終戦ト共ニ上海込燃料委員会接收スル處トナリ 該炭ハ日本海軍ノ
 モナリトナリ 中國海軍ニ申告スル之ヲ案内スル共ニ中國海軍軍需部ニヨリ
 莫收領収書ヲ受ケルコトセリ、事實上莫收ハ不可能ナリ以テ上記本委員会
 及中國海軍ニ通知セシ數ニ基テ以テ領収書ヲ受ケルコトセリ

海軍

四、石炭以外ノ燃料

燃料ノ接收ニ関シハ中國海軍ニ於テ最初ニ極メテ熱心ニシテ之ガ接收ニ盡力ヲ注セル感アリ、ソノ數量ハ別表ノ通ナリ

尚各倉庫別ニ区分セバ

(a) 中國海軍、移動點收ヲ行ハレセリ

忠信小學校、丸善産業社宅、旧射的場、丸善宿舎(但本倉庫ハ)
移動途中、江海關ニ莫收ヲ移文セリ、日華紡、廣東公園、八喜橋
軍大訓練所、丸善石油(高橋鎮)―不動點收

(b) 江海關ニテ莫收セルモノ

國際運輸、軍需部構内倉庫、浦東更細亞丸善馬場、浦東
八州碼頭、浦東大和碼頭

(c) 糧食部ニ移文セルモノ

三興麵粉廠

ソ燃料支給上参考事項次如シ

(1) 新射的場ハ九月十五日迄同射燃費戒中陸隊ガ本部リ上テ同時ニ

中国陸軍ト交代セル野監視下ナリカ或ハ中国陸軍ニ使

用セルカ不明ナモ同射ニテ燃料ハ全部行方不明トナレリ

(2) 廣東公園ハ前記ト同様ナモ全部持去ラレズ約七割程度

中国海軍ノ実收ヲ受テリ

尚各隊ニ自治用保有シ各隊ニ使用セル外各々ソ行ニテ

実收ナレリ

燃料被接收高及價格概算表

品名	補数	数量		単価	代価	記事
		数量	計			
石炭	〃	三〇〇	六〇〇	六〇〇	二四〇〇〇〇〇	三〇年
重油	〃	三〇	一〇〇	一〇〇	三八〇〇〇〇	〃
揮発油類	〃	五〇	二五〇	二五〇	一四〇〇〇〇	〃
石油類	〃	八〇	一五〇	一五〇	九六〇〇〇	〃
鉱油類	〃	一六〇	二五〇	二五〇	四〇〇〇〇	〃
グリス類	〃	四八	四五〇	九〇	二六〇〇〇	〃
雑油	〃	四六	二〇〇	四三	九三〇〇〇	〃
木炭	〃	三〇	一五〇	一五〇	五五〇〇〇	〃
コーク類	〃	一三	三〇〇	三〇〇	三六〇〇〇	〃
計					三二九四〇〇〇	

0297

(三) 被服物品実収ノ概要

終戦当時被服類係有行ハ軍需部及衣糧廠ニテ軍需部ハ各部隊ニ対シテ配給方面、衣糧廠ハ製作及軍需部ニ対シテ供給方面ヲ保持ス居リ、此等保管被服中現地軍人軍属ニ必要ナルハ越冬準備ヲ見越シ各部隊ノ保有量ノ補充ヲ行ヒ今後一年間ハ被服物品ノ支給ヲ停止スルモ差支ハ至極處置セリ

上海方面ハ概ネソノ目的ヲ達スルモ、上流又ハ舟山島方面ハ輸送ノ手配ガ凡部ヲモテアリ然レドモ各地ニ夫々相当程度ノ手持アリ以テ越冬ニ差支ハ生ジレ部隊ハ無カリキ

尚上海方面ニ接收カシタル数量及價格別紙調書ノ如シ

又被服ニ関シ実収上ノ参考事項次ノ通

1) OSA 倉庫等ノ被服ハ米軍ノ進駐ヨリ実収不可能

2) 滬江実収ニ格別中ノ被服物品通物ハ該所ガ八月下旬引上テトナリ盜難

恐リテ中支空手農場終管予是ノ公大農場倉庫ニ移転セシ
急ニ支空ノ引上カテ以テ該村進駐ノ第三方面軍及暴民等ニ押
收又ハ盜難ニ遭タルモノアリ

(1) 中國海軍ヲ一時被服廠設置ノ目的ノ爲メ衣糧廠關係ノ康
泰織布株式會社ヲ一時管理セシ後經濟部ニ移交セラルリ

(2) 終戰當時國防色被服類市中ニ氾濫セルヲ以テ一時海軍關係ヨリ
市中流出セシモノニ付テハ風評アリシルニ該品ハ衣糧廠ニ上納予
定メカ終戰ト同時ニ上納不可能トナルニ付該商社ニ於テ處分
又ハ盜難ニ遭タルモノニテ海軍關係ヨリ直接放出セルモノ非ス

0299

被服被接收高及價格概要表

品名	数称	数量	各品	計量	價格概算	記
單衣袴類	着	四〇〇〇	三〇〇〇	六八〇〇〇		農林省服之会
下着類	〃	六三〇〇〇	五八五〇〇	三二、五〇〇		
外套雨衣類	〃	一四、〇〇〇	九六〇〇	三三、六〇〇		
帽子類	付	九二〇〇〇	五九七〇〇	一三、一七〇	一千四百九十九元	紅十字會
靴	足	一一、〇〇〇	五五〇〇〇	七六、〇〇〇		
毛布	枚	九〇〇	七四八〇〇	七五、七〇〇		各品、取寄券、ハ、陸、秋、隊、此、等、各、品、ニ、テ、ソ、大半、ヲ、占、ム
蚊帳		九、六〇〇	二、九〇〇	一、二、五〇〇		
雜品類	箱			三、〇〇〇		

0300

(四) 糧食品点收ノ概要

（一）終戦ト同時従来軍需部衣糧廠ニテ糧食ハ軍需部ニテ統制廢止
理スルトセリ然ルニ空襲対策トテ高度ノ分散格納ヲ爲シ居リテ高
之ハ管理ニ最モ苦心セリ又糧食ハ盜難ノ対策物トテ最善モナリ
以テ運搬途中暴徒ニテ盜難多ク一時ハ我が海軍自治用物資ノ供給ニモ
困難ヲ感ズリガル状況ナルヲ以テ暴徒ニテ被害ヲ極限スルヲ治具不良
ノ倉庫ハ出納ヲ中止シ盤査ヲ加ルト共ニ九月十五日軍需部本部接
收ヲ受ルヤ外部ニテ糧食各倉庫ヲ速ニ中國海軍ニ通知シ之ハ警
戒ヲ受ルノ措置ヲ講セルヲ以テ終戦ノ困難モ係ス民衆ノ暴動ニテ被
害ヲ避ケ得タリ

（二）糧食ハ中國海軍ノ接收後進ニテ中國海軍之ヲ支給スルノ措置ヲ採リ
タルヲ以テ日本海軍方面ニテモ自治用トシ軍需部倉庫及上海信託
冷蔵庫ノ冷凍品ノ支給ヲ続行スルヲ得上海方面ニテハ終戦後ニ比較

0301

の良好給與ヲ持續スルヲ得ル尚此等中國海軍ヨリ各食庫供給ハ十月
 十日中國海軍ヨリ江海關ニ點收ヲ移交セラルニ付停止セシメタリ
 (1)糧食品ハ部外倉庫會社ノ保管依拠中物多クシテ以テ大部カノモ
 ノガ江海關ノ点收ヲ受ケル結果トナリタリ中國海軍ヲ点收セルハ華順嗎
 頭・滬山嗎頭及招商局中核燐彈庫アリタル分ナリ尚中國海軍
 糧食部終濟部ニ移交セラルモアリ
 此等ヲ合計別表ニ通シナリ

糧食品接收高及價格概算表

品名	数量	單價	代價	備記
精米	三六八	三一〇〇	一一四〇八〇〇	上海陸戰隊ヲ左ニ通接收セル
玄米	七三	二八〇〇	二〇四〇〇〇	ニテ接收セル物品ニテテ外
粗米	三三七一	一八六〇元	四四一〇〇六〇元	上記物品ハ軍需部及衣糧廠

計	冷凍品	罐詰外製食品	主食品計	乾うどん	乾パン	豆類	麵粉	小麦	押麦	玄麦	揚米
	二二五〇	四九一	一〇、七四	三五	六三六	四三一	三七九二	一九四六	二二	四六	一四
				三〇〇〇	三〇〇〇	一六〇〇	二二〇〇	一六〇〇	一五〇〇	一六〇〇	三三〇〇
	三五、三九六、四一〇	二七、二七五、〇〇〇	二〇、五九六、二六〇	七五〇、〇〇〇	一九〇、八〇〇	六七三、六〇〇	八、三四二、四〇〇	三、二二二、六〇〇	一八〇、〇〇〇	六六五、六〇〇	四四、八〇〇
		程二上ル	註：麦粉その他雑食は二万八千一、本年		価格三八、六六〇、〇〇〇円	上記物にト、總計三三〇、〇〇〇円概算	計 五八、六〇〇	製食品類一四、〇〇〇	麵粉他一八、〇〇〇	米 四四、〇〇〇	乾パン三八、八〇〇
										概算の価格	
										三五、〇〇〇	

注 目

0303

(二) 尚糧食是以上参考事項次如シ

(a) 終戦之際ニ我公海軍ハ二千トニ余ル糧ヲ保有シ居タルヲ以テ糧食自給ノ爲ニ精米ノ必要ヲ認メ之ヲ國際産業株式会社依頼シソノ業務ヲ続行スルノ措置ヲ講セリ終戦ト共ニ日本側ニ於テ華ノ苦力使傭不可能トナリテ復員者ヲ悉備入レ關北ノ治安不良ノ場所ナリ三關ヲ欣然ソノ作業ノ終結ニ努力セリ我公陸軍隊ノ同方面撤退ニ伴ヒ中國ノ警戒ヲ依頼シソノ作業続行中ナリトガ後該精米所ハ上海市糧食部ニ移交セラルリ終戦因亂ニ係ルニ事業ヲ終結スルヲ得過シ中國側ノ接收ニ於テソノ工場整備ナシ居リシヲ償還スル新聞記事見ユリ関係者ニ対シソノ苦力苦ヲ尋トスル虞ナリ

(b) 國際産業大中華麵粉廠等糧食工場ニアリ名物品ハ中國海軍接收後糧食部ニ移交セラルリ此等海軍ハ海軍物資以外

0304

会社所有ノ物資ヲ保管中ナリガ糧食部於テハ一俣莫收セリ

① 原田味噌店ノ原料支給ノ上海軍納入用味噌醬油製造中

ナリガ瑞金路ノ榮ノ良ノ地莫ニアリタルヲ以テ中國海軍ニ

接収ヲ依頼シ中國海軍味噌工場トテ事業ヲ終結中ナリガ

後第ニ方面軍菜購立委員會ニ移交スリ

0305

(五) 需品受取ノ概要

終戦当時軍需部ハ約一年分ノ需品類保有中ミテ之又各長
 主管官トシテ各分隊所ニ格納シ居リタリ 尚一部現地自治ニ必要ナル意炊
 要具・文房具類 大莫中弄ハ之ヲ各隊ニ供給シ其地ノ他ノモノハ各分隊
 地ニ於テ中國海軍及江海關ニ接收セラレタリ

受取ラ受テタル数量及価格概算表知シ

主管別	内容物件ノ主トモノ	概算価格	記
兵科各長 主管官	燃料 甲種要具 帆布 類 電器具	一、五九億九	事
陸軍各長 主管官	物檢補用品及消耗品	三二八	
内務各長 主管官 (金三)	銀器器具及金屬類	二九〇	
外務各長 主管官 (木三)	木製器具及木材類	六六	
衛生各長 主管官	宝燈器具及事務用品 耗品	四四	
計		三、三八七億九	

海軍

(六) 造船造兵資材ノ莫收ノ概要

此等ノ保管所ノ工作部ニテ主トシテ江南造船社及楊樹浦工場ニ集中
ニアリタリ

中國海軍ニ於テハ中國海軍林山將主体トナリ他トハ別箇ニソノ莫收
事務ヲニ当リタリ

之ガ品名價格概算次ノ通

項目	数	價格	記	事
施設増設	棟 一〇	五、八〇〇		
兵器及同 附屬品	隻 五八、九三〇 一、七〇〇 三八〇	五、八〇、九八〇		
車輛	輛 八八	二、三八、〇〇〇		
舟艇	隻 一四			
機械	台 二九五	四、七五、二五〇		

計	器具什器	好	九、九四、七五二	二、九八三、五三三
	資材	米	二、四三、八八五	
燃料	好	二、三九	四、八八〇	
	支	九、六三六		
器具什器	好	七三〇	四、八二〇、五三三	
	支	一、七三、九七七		
計	好	四、九、三九〇、九三三	一、〇二、一九三	
	支	一、七、九八一		

但兵器同部分品、同附屬品及車輛、兵器及車輛部、テ總計
 額中、今、計算、之、ヲ、除、ケ、バ、三、一、三、〇、六、九、九、万、九、千、リ

海軍

編四〇〇

0308

七、施設材料、兵收、概要

此等、物資ハソノ性質上各倉庫及置場ニ分散格納中ナリキ故メ中國海軍ヨリ本部ノ接收ヲ受ケルト共各分散所ノ封印ヲ受ケソノ一部ヲ移動兵收中ナリキ江海關ノ兵收開始セラルヤ總テ江海關ニ移交セラレタリ中國海軍ノ移動兵收ヲ受ケタルハ農場倉庫（昭和島倉庫）瀋江大學倉庫ナリ又一部ノ置場（四早ノ五早置場）ハ米軍ノ進駐ト共同軍ノ自動車置場使用ノ爲移動ヲ命セラル補給倉庫ニ運搬同所ヲ兵收ヲ受ケタリ尙或基地ニ在リタル材料類同地ニアリタル中國軍及米軍等ニ押收使用セラルソノ已ムナキニ至レリ 施設部ニ於テ中國海軍ニ兵收サレタル物品ノ價格ハ概テ次ノ通ナリ

機械類 一三九台 八六六五〇万円

器具類 七〇七九一九万円

製品材料品 西九四四〇九九万円

計

一五七四八六六八〇元

商施設部兵收上問題より名諸兵次、如シ

(イ) 壽公司の第三方面軍進駐中ニテ中國海軍及江海關、入場ヲ許可セズ

兵收不可能何家灣置場ハ米軍工稅處進駐中ニテ兵收不可能ナレリ

(ロ) 無錫專山路水泥公司ニ遠方ニアル為之會兵收不可能倉荷証券ノミヨ

中國海軍ニ授同前ヨリ無錫ニ照會中又米人瑞豐倉庫ニアルク

ル分日本側兵收之會ニ來テ一ニ倉倉荷証券ニ中國海軍ニ授ヒヤリ

八 雜品類、兵收

雜品類トハ經理部購買ノ各種工業原料品軍需部保管中ノ通常物品

航路部保管中ノ水路費支弁ノ機械器具資材類ヲイフ

(ハ) 經理部保管中ノモノ

主トシテ毛絨洋紙及工業原料ニテ此等ノ物件モ公私祥碼頭ヲ始メ各所

ニ分散格納中ナリ方丈々中國海軍及江海關、兵收ヲ受ケタリ

0310

此等ノ物資

毛絲

一四三七、〇〇〇

新聞紙類

一三五九、〇〇〇

アンチモニー

五三三、〇〇〇

計六九七、〇〇〇万九ナリ

等々

(四) 軍需部保管中ノモノ

主トシテドラム缶自動車下シブソノ他各種包装材料荷役要具事務用
品等ニシテ之ノ代價概ネ四九九、〇〇〇万九ニ及ブ

此等ノ物品主トシテ軍需部橋内各倉庫交通銀行造幣廠農場倉庫
旧射場倉庫軍興倉庫等格網中ノ處又々中國海軍及江海關ノ處
ヲ受ケタリ

(五) 航路部保管中ノモノ

印刷機械及印刷消耗品等主ナルモノニシテ總テ中國海軍ノ兵收ヲ受ケ

タリ後此等ノ物品ハ中國海軍ヨリ中國海道測量局ニ移交セラレタリ
之ハ軍需品ノ概算額ハ一億元ナリ

(四) 雜品其收トノ參考ヲ要ス

經理部保管中ノBB倉庫ハ英國人ノ經營シテ元該會社所有
ノモノヲ先年盡全シ其一部ヲ日本海軍ニ終戦後配給セシメ
該英人ヨリ抗議アリ方ニ後何年ノ運會ナリ

九. 治療品ノ其收概要

第一海軍病院ニ保管中ニテ該所ニ終戦ト同時ニ中國海軍ニ接收タリ
該病院ニ派遣中ノ中國側病院長ノ其收ノ受ケタリ一部多クヤ海軍倉
庫ニアリ名材料品ハ米軍ニ進駐ヨリ利発製藥會社アリタル所カ
米人ノ工場ヲ戰時中我カ方ニ管理中ノモノカ中國海軍ニ其收不可能
トナレリ此等藥品及器械類ノ用カ海軍病院合内アリ名モ其收ノ全
額ニ四一億元ナリ

一、酒保物品真收ノ概要

（軍需局家族ノ如生）

最初艦隊酒保物品日本海軍將兵ノ自活用物資ニテ且純然然
軍需品ニ非ザルヲ以テ目錄ニ計上シテラアリシガ相當ノ物品ヲ有シ居ル
爲後中國海軍ニ於テ之ヲ接收スル旨申述ベ來タリテ我々海軍ニテ
酒保ノ性質ヲ説明シテ接收ヲ受ケルコトヲ速ベムニ後江海國真
收ニ移交セラルヤ軍需品ト同様接收ラトニ決定スレタリ
此等酒保物品モ他ノ軍需品ト同様各所（公私祥ト倉庫交通銀
行造幣廠揚樹浦事務所及倉庫間門倉庫）分散テアリ
モイブレモ中國海軍及江海國ニ接收スレタリ
燐寸外百五十品種ニシテ大略六百億也ニシル

二、車輛及自動車部分品ノ真收

（此等車輛ハ主トシテ軍需部自動車修理班及陸隊運輸部經
理部ニ於テ保管中ニシテ夫々中國海軍及江海國ノ真收ヲ受ケタリ

而ニテ中國海軍ノ莫收セルモノトシテ自動車ニテ中國江海關ノ莫收セルモノ
 各倉庫内ニアリタルモノ及ヒ故障車等アリ之ガ各所縣別詳細及評價
 類別紙ノ通ナリ

被接收自動車数及價額概算表

折舊名	乗用車	貨物車	小型車	消防車	計
C S F 司	8	1		2	11
大ニ事務折	2	1	2		3
上ニ根		4	2	3	9
上ニ港	3	5	4		12
上ニ航	1	2	6		9
上ニ陸	109	23	27	3	162
上ニ施	3	92	35	1	131
上ニ工	9	8	21	5	43

0314

二 気象	1	1	2	2	6
皇法會議	2				2
上 運		66	12	1	79
一 至 (モーター)	16		3		19
補給部 (二番) 監修	10	66	23	(清漆ボツボ)	121
一 番 (修理班)	37	44	29		110
総 計	199	313	166	39	917
一台新車 500,000 円 廃車 100,000 円 トランジスタ車 2 台 木車 1 台 マイク (車) 250,000 円 トス $250,000 \times 917 = 1782,500$ 円 トス (2) 自動車部 5 両 終戦直前車庫部 附属施設トス 自動車修理班設置トス 自動車修理部トス 島主トス 該所ニ集中セシムル者トシテ然ニ該所ハ中國海軍ノ					

0315

接收ヲ受ケルヤ之ガ真收又ハ軍需部本部ト切離シ中國海軍派遣工
官ノ真收ヲ受ケタリ該所ニアル修理機械及部令品價格推定額
約四百億元下リヨ内ニ軍需部構内整備庫ニアル分モ併々計算ス
（三）施設ノ接收

施設中國海軍ノ接收ニ依リ尙有權移転シ真收ノ行方行ハサレシモ
日本海軍方面所有ノ建物ニテ中國側ニ接收セシモノヲ調査セバ
左表ノ如シ

上海方面被接收各施設價格概算表

建物名	建物概要	概算價格	接收機關	記事
上海陸戰隊部	鐵路ヨリト四階建外 附屬建物	（金額）	中國陸軍	日本海軍ニテ三月 五日前價格ヲ推定ス 此等モノハ約四百億 元ノ内ニ他ノ軍需部 施設ノ内ニ屬スルモノ ナラズ
海陸戰隊新倉	鐵路ヨリト三階建 及附屬建物	二六九、		
海軍射的場	煉瓦建物平家外	一三、		
第三電信所	煉瓦建物一上建外	一八六、		概算セリ

第五上海方面ニ於ケル軍需品ノ綜合評價表	海軍俱樂部	煉瓦建三階建外	一五九	中國海軍
	下官兵集合所	煉瓦建三階建外	一五六	
	旧軍需部		一三三	
	軍需部格納庫	型成式車庫	六六	中國海軍
	農場倉庫	木造三階建棟	七	
	艦隊司令部	三階建外	五〇	
	汽機及建物	滑走路及附屬建物	一三〇〇	中國空軍
	龍華基地及建物		一五九〇	
	航空廠建物	鉄筋及煉瓦建物	八五	中國空軍
	設施部	木造建物	二九	中國海軍
海軍病院	三階建	四〇〇	中國海軍	
計		一九一三〇		

0317

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0317

新入
 済
 了
 接收機関記六編
 記載
 下
 0318

以上第四三述各軍需部品ヲ綜合スバ次ノ如シ

品名	備考	概算價格	記
兵器	需陸工司	二〇七八〇〇〇〇	評價基礎六九月中旬の市價市價依
燃料	需經	三〇四〇〇〇〇	市價不明、物價前後、物價指數を参考
被服	需衣陸	三〇七〇〇〇〇	此ヲ推算ス
糧食	需衣常	三〇七〇〇〇〇	
需品	需陸	三〇七〇〇〇〇	
造船建築資材	工	三二〇〇〇〇〇	工作部概算及報告に合ふ
建築資材	施	一五三〇〇〇〇	建設部概算器具類に合ふ
雜品	需航	一〇六〇〇〇〇	経理部物資六九年度に需部衣履廠造船
治療品	病	二四〇〇〇〇〇	軍需物類四九年度に需部衣履廠造船
酒保物品	酒	六六三〇〇〇〇	
車輛及軍需品	需各	三二八〇〇〇〇〇	車輛七七台、一七八三億元、軍需品、四〇〇億元

施設 陸 中空 一五、三〇〇、〇〇〇

計 五七、七三三、〇〇〇

第六 兵收作業綜合ニ対スル所見

(一) 捜査目録ト兵收實數ト不適合ノ理由

今次接收ニ當リテ、最初八月三日目録ヲ捜ヒシノ後各部ノ兵收ヲ受ケテ

是ノナカニ兵收實數ト目録揚記數ト必ズ適合數ニ居ラズルモノアリ左ノ如ク

(二) 目録調製期日八月三日現在量ニテ中國沿岸ノ來港ハ九月十四日實

際ニ兵收ヲ開始セルハ十月中旬ニシテソノ間治安不良ヨリ盜難防止ニ為

移動自家用物資供給(主トシテ補給庁老軍需部)消費等ノ為補

當ニ異動アルト(從テ兵器ノ小キハ不適合致シトナシ)

(三) 軍需部構内各倉庫施設部木材置場等ハ米軍進駐ノ為急

速移動ヲ命ゼシヨリ紛失等アルモ整理ノ暇アラザリシト

(四) 八月三日現有品目録ハ至急調整ノ為高度ニ分類納ラズテアリ

ル各部に於て八月十日以後、治安不良及人員の手不足等により正確
な数字の把握困難あり、必らず正確の期を得サレシコト

(2) 中國側兵收單位ト相違ニ關スル注意

本兵收報告、主として日本側にて合算ル数量ヲ基礎トシ作成セシナリ
然るに中國側に於て中國側習慣ヨリ分類ヲ存シ居るナリ例ハ中國
江海關等ニ於てハ品物ヲ商品の取扱フ爲ニ日本側ニ米何冠靴
下十足鉛筆百本ト計算スルニ對シ米何冠靴下一箱鉛筆一箱
トイフが如ク計算上領收書ヲ交付セルモノナリ故に中國領收書トハ數
セザルモノナリ本報告中、價格評價并ニ日本側報告ヲ基礎トシ計
算セルモノナリ

(3) 作業ニ對スル回草一兩者間ノ態度

兵收ニ際シテ言語不通習慣相違等ヨリ最初ハ相當苦痛ヲ伴ヒ
作業進捗ノ必らず能率的ナラサル兵アリモ漸次ノ理解減シ之ヲ

全般的に見れば中國海軍及江海關の態度は公正にして作業は極々順当
ニ行ハレタレト認ム。特我ガ方ニテ積極的の真收作業計画實施
整理及連絡ノ全般ニ亘リ協力セル結果中國側ニ對シテ相當ノ好感
ヲ興ヘ本作業ヲ通シ帝國海軍ノ實力ヲ發揮シ信頼感ヲ深メ得
タル所不尠。廣汎ナル区域ニ亘ル煩雜ナル業務ヲ事故ヲ終ラシメハ我
ガ力トシテ満足ニ不堪次第ニテ持テ大量ノ物資授受當リノ戦敗ノ場
ニ於テ克ク敗勝者側ヨリ正當証憑ヲ蒐集整モシ得タルニ終ル作
業中ノ一快事ナルヲ矢スト信ス。

(4) 江海關參加影響

真收作業途中中國江海關が介入シ來リ一時ハ煩雜ヲ極メル
モ中國江海關の態度は公正ニシテ事務處理ノ要領ヲ此等中國
江海關ノ真收ヲ受ケル物價ハ未英側旧所有品ニモ適正ニ分配セ
我ガ方接收セル外國權益物資ノ賬簿類算定ニ際シテ輕減ニ并

興
不
處
不
對
ト
認
ム

0323